

糖尿病の
認定指導士



日本糖尿病療養指導士とはどのような資格で、何をされている方たちですか？



近年、日本では糖尿病人口が増加する一方、高齢化も進み、高齢者の糖尿病患者さんが年々増えていきます。そのため、腎臓病、脳卒中、心筋梗塞などの合併症予防の対策が重要となりますが、これに対応するためには限られた医師のみでは不可能で、



療養指導士認定機構」を設立し、各職種で糖尿病の一定の知識を持った人を日本糖尿病療養指導士として資格認定を行うようになりました。

看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士ほか、多職種の連携が必要です。そこで、2000年に

日本糖尿病学会、日本糖尿病教育・看護学会、日本病態栄養学会が母体となり、「日本糖尿病

認定指導士は各地域や各部署で医療チームの一員となり、患者さんに寄り添い、糖尿病における生活や栄養、食事、運動など多方面の指導を行い、より良質な療養ができるように活躍されています。



高知高須病院
糖尿病内科部長 末廣 正さん

高知市大津乙2705-1 TEL088-878-3377 〈糖尿病内科〉